

5年間で170件
のがんを発見

がん検診の費用は
市が8割
助成

がんは早期発見で
治す時代

健診にかかる時間は
年にたった1時間

男性の
4人に
1人は
メタボ?

40過ぎたら
健診

受けよう、健診

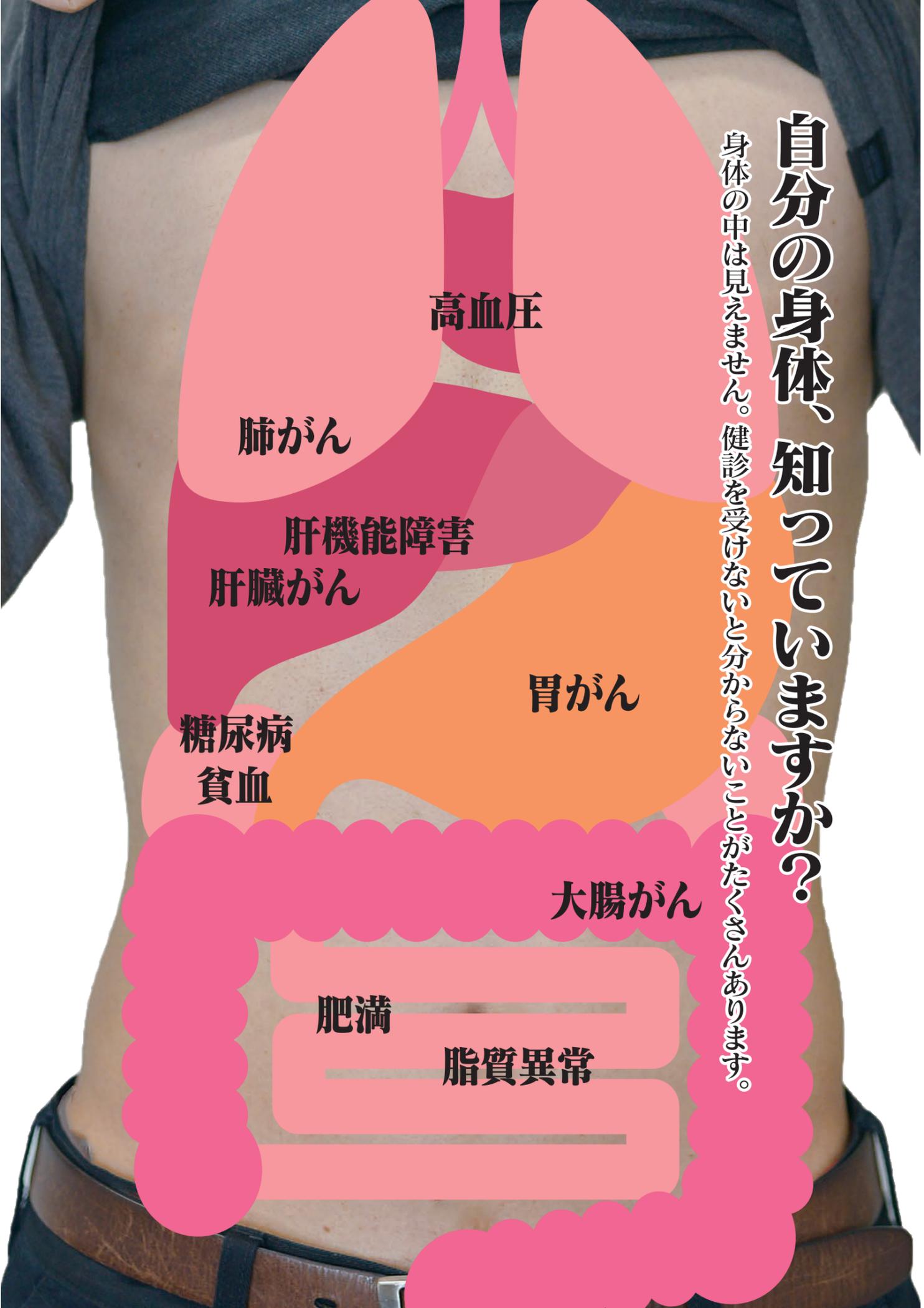
2人に1人が
生涯に1度は
がんを経験する

早期のがんなら
1週間で
職場復帰

先手必勝
自覚症状が
出る前に
病気の芽を摘む

市内で毎年
300人が
がんで死亡

自分の身体、知っていますか？
身体の中は見えません。健診を受けないと分からないことがたくさんあります。



テレビや雑誌では、健康に良い食材や運動方法、薬の話、〇〇健康法など、健康にまつわる話題が連日取り上げられています。それほど健康に対する意識や興味・関心が高まっているにも関わらず、健康診査やがん検診の受診率はいまだ高いとは言えません。どんなに健康法を実践しても、食や生活に気を付けていても、病気にかかることはありません。毎年きちんと検査をして、早期発見につなげ、治療を済ませる方が「健康に気を付けているから大丈夫」と検診を受けずに進行してから病気に気付くより、治療も楽で、死亡率も低くなります。そのためにも、定期的な健康診査とがん検診の受診を欠かさないことが大切です。

例えば「この飛行機 何年も点検してないですよね」と言われたら怖くて乗りたくはないです。一方、何年も点検していない身体で「まあ大丈夫だろう」と思っただけで「まあ大丈夫だろう」と思っただけで脳卒中や心筋梗塞が発症すれば、ほんの数分で命を落としてしまふこともあり得ます。

病気になる努力も大切ですが、素早く見つけて、楽に治すという点も、それと同じくらい重要なことなのです。